

ニュージーランド研修は 江戸川大学生のアイデンティティ



KIWI café ヌヒタ:

駒木祭で今年から開催された新企画をレポートしよう。海外研修委員会と江戸川大学駒木会が主催しているKIWI caféだ。

25年間のニュージーランド(以下NZ)研修の記録やNZに関する新聞記事などが展示がされていた。奥では研修中に撮影された写真が流れている。テーブルの上にはお菓子がたくさん並んでいた。お客さんが研修

記を読みながら、お菓子を食べていた。この企画のために、わざわざNZから取り寄せた現地のお菓子である。

Z研修が今年で25周年の節目ということで、海外研修の成果を発表し、過去に参加した卒業生の皆さんと昔を振り返る同窓会的なことをしたいと思い、この催しを企画しました。また在学生と卒業生の交流の機会となれば幸いです」と話す。

Z研修が今年で25周年の節目ということで、海外研修の成果を発表し、過去に参加した卒業生の皆さんと昔を振り返る同窓会的なことをしたいと思い、この催しを企画しました。また在学生と卒業生の交流の機会となれば幸いです」と話す。

NZ研修で 手に入れたもの

行き、とりあえず異文化に飛び込むチャレンジをしただけでなく、一緒にNZへ行った学生と仲良くなるチャンスでもある。江戸川大学生にとって、最大のイベントだ。

来年に向けて

KIWI caféには2日間です。日本にあるNZ文化を発信している場所、例えばNZ大使館、そういった場所の情報を紹介したい」と土屋先生は来年への抱負を笑顔で語ってくれた。



上 KIWI café 発起人の土屋薫先生。

左 研修記を見たり、NZ 現地のお菓子を食べる来場者。

下 研修について懐かしそうに話す卒業生出嶋一樹さん。



記者も1年生の夏に、事前学習もそこそこのいきなり海外へ

ずらりと並んだNZ研修記を懐かしそうに眺めていたのが、2003年にNZ研修でパーストンノースへ行ったマス・コミュニケーション



レポート#2 駒木祭 2015.11.2~3

駒木祭は、江戸川大学と江戸川大学総合福祉専門学校が共催する学園祭。

江戸川大学 NZ 研修とは



江戸川大学伝統のNZ研修は、1年生の夏休み(8月下旬~9月上旬)の3週間、NZでホームステイをする語学研修だ。オークランド、パーストンノース、ウェリントンなど、いずれかの地域に滞在する。

現地の大学で英会話を勉強しつつアクティビティに参加し、ホームステイ先の家族と親交を深め生活していく中で、英語を学んでいく。

もともとは必修科目だったが、現在は選択科目になっている。海外へ行き異文化に触れることや、語学を磨くだけではなく、一緒にNZへ行った学生と仲良くなるチャンスでもある。江戸川大学生にとって、最大のイベントだ。

「一番学んだことというか思ったことは、「コミュニケーション」は「気合」「気持ちが大抵だということ。英語が通じなかったとしても気持ちを込めれば伝わるということ。言葉がすべてじゃない」社会人になってからもコミュニケーションは「気合」だと語っていた。隣にいたのはNZ研修に一緒に行った同級生。「今でもこうして付き合いがあるし、頻りに連絡をとる」と出嶋さんは言う。一緒に研修へ行った友達とは一生の付き合いとなるのだろう。

(写真:石原健太郎 取材・文:守合信)